

はじめに

五郷小学校は、約10年前より全学年が複式となり、今年度は3個複式学級の全校児童12人となっています。他府県から五郷地区に移り住まわれているご家族があり、幸いなことに欠学年はありません。子どもたちは、山間の自然豊かな環境のもとで、地域の方々にあたたかく見守られながら健やかに成長しています。

「豊かな心と確かな学力を備え、しなやかに生きようとする子の育成」を学校教育目標に掲げ、学校づくりのテーマを「明日も来たいと思う学校」として取り組む中、昨年度より、2か年計画の熊野市学力向上支援事業の研究指定校となり、本研究会への運びとなりました。

今年度は、職員の入れ替わりで初めて複式授業を経験する担任もあり、また、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策が重視される中、「豊かな心と一人ひとりの学力を育む～お互いを認め励まし合える児童の育成と自らが考える授業をめざして～」を研究主題とし、研修に励んでまいりました。

自分も周りの人も大切にすることを育むこと、一人ひとりの自尊感情や自己有用感を高めることが学力育成のベースにもなることは言うまでもありません。豊かな心を育むことが、子どもたちの安心できる学級・学校活動につながると考えています。

「めあて」と「ふりかえり」のある、子どもたちが見通しをもって主体的に取り組める授業の充実を心がけるとともに、国語と算数の複式授業においては、「わたり」や「ずらし」の手法を駆使しながら、有効な直接・間接指導の実践に努めてきました。特に、本研究会に向けては、算数科において、

- 間接指導場面におけるガイド学習の定着
- 多様な見方や考え方に気付かせ触れさせる工夫
- 視覚的にとらえやすい掲示物の工夫
- 互いの思いや考えを伝え合い聞き合う場面の設定

等を大切にしながら取り組んできました。

しかしながら、私たちの実践はまだまだ途上にあり、継続して子どもたちの豊かな心の育成と学力の向上にますます励んでいく思いであります。本研究会におきまして皆様の率直なご意見をいただけることが、私たちの活力になり子どもたちに還していけるものと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

本校の研修及び本研究会の開催に向け、ご指導ご助言をいただきました熊野市教育委員会、元三重県教育委員会学力向上アドバイザー竹内誠先生、三重県紀州教育支援事務所、多くの方々に心より感謝を申し上げますとともに、今後ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

令和3年1月20日

熊野市立五郷小学校 校長 上林 和弘